

2021年7月期全塾協議会定例会議事録

2023年10月25日

全塾協議会

全塾協議会規約 第22条第1項に基づき、2020年7月25日に開催された全塾協議会定例会の議事録を公開する。ただし、役職役名ならびに条数は議会当時のものである。

議事概要記録

| | |
|----|------------------------|
| 名称 | 2020年7月期全塾協議会定例会 |
| 場所 | オンライン (WebEx) |
| 日時 | 2020年7月25日 18:30~20:37 |

出席者

| | | |
|---------|----------------------|-------|
| | 塾生代表 | 山田健太 |
| 上部団体 | 文化団体連盟三田本部常任委員会 委員長 | 松尾和真 |
| | 体育会本部 主幹 | 長谷川高規 |
| | 全国慶應学生会連盟常任委員会 常任委員長 | 吉田凌太 |
| | 全塾ゼミナール委員会 委員長 | 吉田誉大 |
| | 四谷自治会 会長 | 保住英希 |
| | 芝学友会 会長 | 横山さくら |
| | 福利厚生機関本部 代表代理 | 岡山直寛 |
| | 全塾協議会事務局 事務局長 | 岩館則明 |
| | 全塾協議会事務局より他 10名 | |
| 以下議案提出者 | 全塾ゼミナール委員会 委員長 | 吉田誉大 |
| | 三田祭実行委員会 委員長 | 不在 |
| | 應援指導部 旧定演会計 | 江下葵 |
| | 應援指導部 会計 | 坂本雄紀 |
| | 應援指導部 吹奏楽団会計 | 林大起 |
| | 應援指導部 代表 | 小畑采花 |
| | 應援指導部 | 中村剛太 |
| | 湘南自治会準備会 代表 | 松浦竹之介 |
| | 全塾協議会事務局 財務部長 | 関田大輝 |
| | 選挙管理委員会 副委員長 | |

次第

| 項目 | 担当・議案提出者 |
|-----------|-----------|
| 1. 開会宣言 | 事務局長 岩館則明 |
| 2. 塾生代表挨拶 | 塾生代表 山田健太 |
| 3. 定足数確認 | 議事部長 在原拓哉 |

| 項目 | 担当・議案提出者 |
|---|-------------------------|
| 4. 配布資料の確認 | |
| 5. 議事録作成報告 | |
| 6. 議長の指名 | |
| 7. 議事 | |
| (1) 塾生代表報告 [20210725-01-JSD] | 塾生代表 山田健太 |
| (2) 事務局報告 [20210725-02-JMK] | |
| i. 総務政策部報告 | 総務政策部長 清瀬竜世 |
| ii. 財務部報告 | 財務部長 関田大輝 |
| iii. 議事部報告 | 議事部長 在原拓哉 |
| iv. 広報部報告 | 広報部長 堤悠真 |
| v. 局長報告 | 事務局長 岩館則明 |
| (3) 全塾ゼミナール委員会の交代報告 [20210725-03-ZZI] | 全塾ゼミナール委員会 旧委員長 吉田誉大 |
| (4) 三田祭実行委員会の団体規約についての報告 [20210725-04-MIT] | 不在 |
| (5) 應援指導部の交代報告 [20210725-05-OES] | 應援指導部 旧定演会計 江下葵 |
| (6) 應援指導部の交付金特別支出承認申請 [20210725-06-OES] | 應援指導部 会計 坂本雄紀 |
| (7) 應援指導部の独自財源特別支出承認申請 [20210725-07-OES] | 應援指導部 吹奏楽団会計 林大起 |
| (8) 應援指導部の活動報告 [20210725-08-OES] | 應援指導部 代表 小畑采花 |
| (9) 應援指導部の再建活動についての議案 [20210725-09-OES] | 應援指導部 中村剛太 |
| (10) 湘南自治会準備会の活動報告 [20210725-10-SJK] | 湘南自治会準備会 代表 松浦竹之介 |
| (11) 全塾協議会事務局の交付金特別支出承認申請 [20210725-11-JMK] | 全塾協議会事務局 財務部長 関田大輝 |
| (12) 全塾協議会事務局の新規事業実施報告 [20210725-12-JMK] | 全塾協議会事務局 事務局長 岩館則明 |
| (13) 選挙管理委員会の湘南自治会設立承認投票報告 [20210725-13-SKN] | 選挙管理委員会 副委員長 関田大輝 |
| 8. 連絡事項 | 議事部長 在原拓哉 |
| 9. 閉会宣言 | 事務局長 岩館則明 |

議決事項

| 議案識別子 | 提出者 | 議事名 | 可否 |
|-----------------|------------|---------------|------|
| 20210725-01-JSD | 塾生代表 | 業務報告 | 採決なし |
| 20210725-02-JMK | 全塾協議会事務局 | 業務報告 | 採決なし |
| 20210725-03-ZZI | 全塾ゼミナール委員会 | 交代報告 | 採決なし |
| 20210725-04-MIT | 三田祭実行委員会 | 団体規約についての報告 | 取り下げ |
| 20210725-05-OES | 應援指導部 | 交代報告 | 採決なし |
| 20210725-06-OES | 應援指導部 | 交付金特別支出承認申請 | 可決 |
| 20210725-07-OES | 應援指導部 | 独自財源特別支出承認申請 | 可決 |
| 20210725-08-OES | 應援指導部 | 活動報告 | 採決なし |
| 20210725-09-OES | 應援指導部 | 再建活動についての議案 | 採決なし |
| 20210725-10-SJK | 湘南自治会準備会 | 活動報告 | 採決なし |
| 20210725-11-JMK | 全塾協議会事務局 | 交付金特別支出承認申請 | 可決 |
| 20210725-12-JMK | 全塾協議会事務局 | 新規事業実施報告 | 採決なし |
| 20210725-13-SKN | 選挙管理委員会 | 湘南自治会設立承認投票報告 | 採決なし |

2023年10月25日 議事録作成(役職役名ならびに条数は議会当時のものである。)

全塾協議会事務局 事務局長 岩館則明 (署名) 全塾協議会規約第22条に基づき、事務局長の署名は省略する。

この議事録が正確であることを証する。

塾生代表 山田健太 (署名) **山田 健太**

全塾協議会 議長 横山さくら (署名) 2024年1月29日付で議事録を真正なものであると確認した。

議事詳細記録

1. 開会宣言

事務局長 岩館則明が開会を宣言した。

2. 塾生代表挨拶

塾生代表 山田健太が挨拶を行った。

3. 定足数確認

議事部長 在原拓哉による点呼により、定足数を満たしたことが発表され、本会の成立が確認された。

4. 配布資料の確認

議事部長 在原拓哉が、既に配布された資料の確認を行った。

5. 議事録作成報告

議事部長 在原拓哉は、先月から作成、チェックが完了した議事録はない旨、また夏休み中には 2018 年度の議事録チェックまで完了させ、ホームページで公開できるように尽力する旨が述べられた。

6. 議長の指名

議事部長 在原拓哉は、全塾協議会規約 第 10 条に基づき議長の選任方法を諮ったところ、満場一致で芝学友会代表 横山さくらが議長に選任された。

7. 議事

(1) 塾生代表からの業務報告

伊藤新塾長と話したことが報告された。時間は 30 分から 40 分程度だったが、かなり和気あいあいとしたもので、かなり全塾協議会に対してプラスに捉えてくれていたと伝えた。また今後も塾生の声を直で聞きたいと話していたことも併せて伝えられた。加えて、今後も選択肢の 1 つとして、塾長との話し合う機会を設けられるかもしれないと述べた。

また、予算折衝を開始したことが報告された。今年のリーダーズキャンプでは、できる限り必要などころに必要な分だけ交付したいと述べた。まずは希望する団体に予算折衝を行い、次に塾生代表が指名をして折衝を行い、できる限り事前に話をし、そのうえでリーダーズキャンプに臨みたいと伝えられた。また、事務局が行っている新型コロナワクチン接種の体験談の募集の広報に携わったことが報告された。また、技術的なアドバイザー的なポジションとして、湘南自治会準備会の選挙について携わったことも報告された。加えて、話をしたい団体と話をしたことが報告された。今まであまり進められなかったものは、夏休み中に色々着手したいと述べた

(2) 事務局からの業務報告

i. 総務政策部報告

優勝準備委員会へ参加、事務局仮配属の統括をしている旨を報告した。また、医学部学生アンバサダーの方々と協力しての新型コロナウイルスワクチン情報サイトの作成し、ワクチン接種の体験談を募集していることを報告した。加えて、塾長面談へ出席したことを報告した。また、湘南自治会準備会の新規事業助成制度に関する業務を行ったことを報告した。また、学祭開催形態に関する要望書を学生部へ提出したことを報告した。

ii. 議事部報告

先月から今月で交代承認申請を提出する団体が何団体かあったため、名簿・メーリングリスト・点呼表の更新を行ったと報告した。また、7 月期定例会の式次第作成及び議案資料の共有を行ったと報告した。併せて、先月から上部団体と塾生代表には議会運営をスムーズにするために前日までには議案資料を共

有していると伝えた。また、8月期定例会の日程調整及び告知を行っていることを報告した。併せて、告知のメーリングリストに関しては明日の午前8時に送信予定と報告した。また、議案資料提出のメール対応を行っている旨を報告した。また、代交代を行った団体に対して、性暴力に関する誓約書及び活動報告書回収の呼びかけを行っていることを報告した。

iii. 財務部報告

決算書類及び予算書類を回収していると報告した。また、予算折衝の日程調整及び実施を行っている旨を報告した。加えて、一次監査の案内及び二次監査に向けた各種準備を行っていることを報告した。また、6月の特別支出許可番号を発行したことを報告した

iv. 広報部報告

ウェブサイトの更新を行っていることを報告した。また、全塾協議会のポスター作成及び修正を行っていることを報告した。また、新型コロナウイルスワクチンに関するホームページ作成及び経験談募集フォーム作成及びその募集を行っていることを報告した。加えて、仮配属局員への業務説明を行っていることを報告した。

v. 事務局長報告

全塾協議会と事務局の公認申請手続きについて、本年度も福利厚生団体として登録されたことを報告した。また、新入生の部署への正式配属について夏季休業中に決定して報告する予定であることを報告した。

(3) 全塾ゼミナール委員会の代交代報告

全塾ゼミナール委員会より代交代報告が上程され、新代表に増馬やよい、新財務に西川幸花が就任した。増馬やよいから「新委員長の増馬やよいです。1年間長いですが、精一杯頑張りますので、よろしくお願ひします。」、西川幸花から「迅速な対応をこころがけるのでよろしくお願ひいたします。」と述べられた。塾生代表 山田が代表ではなく委員長ではないか、と質問した。全塾ゼミナール委員会 前委員長 吉田が、委員長が正しいとし、書類の訂正が必要ならすと発言した。事務局長 岩館は、訂正の必要がない、と回答した。

(4) 三田祭実行委員会の団体規約についての報告

担当者不在につき、議案は取り下げられた。

(5) 應援指導部の代交代報告

應援指導部より代交代報告が上程され、新定期演奏会会計に江下葵が就任した。

塾生代表 山田は、私は承認している、と発言した。また、山田は、新担当に抱負をもとめ、新定期演奏会会計 江下は「本年度の定期演奏会会計をつとめる江下です。よろしくお願ひします」と回答した。

(6) 應援指導部の交付金特別支出承認申請

應援指導部 坂本より交付金特別支出承認申請が、以下の通りに上程された。

| | 許可金額 | 申請時期 | 品名 | 支出理由 | 支出時期 |
|---|----------|------|--------------------------------|----------------------------------|-----------|
| 1 | ¥160,000 | 事前 | 體育會応援における器材運搬のためのレンタカー代 | 體育會応援における器材運搬のためのレンタカー借用費用として | 2021年8月以降 |
| 2 | ¥10,000 | 事前 | 體育會応援における器材運搬のためのレンタカー代の外部駐車場代 | 體育會応援における器材運搬のためのレンタカーの外部駐車費用として | 2021年8月以降 |
| 3 | ¥2,500 | 事後 | 體育會応援における器材車の外部駐車場代 | 體育會応援における器材車の外部駐車場費用として | 2021年8月以降 |

塾生代表 山田は予算とは別なのかと質問し、坂本が予算に組み込まれていたが特別支出承認申請をしていなかったと答えた。また山田から事前申請のものはいつ行くものかという質問がなされ、坂本がいつなのかはいえないが、サッカー応援のためのものと回答した。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(7) 應援指導部の独自財源特別支出承認申請

應援指導部より独自財源特別支出承認申請が上程された。

<定期演奏会会計>

| | 許可金額 | 申請時期 | 品名 | 支出理由 | 支出時期 |
|---|---------|------|--------------|-----------------|----------------------|
| 1 | ¥16,000 | 事前 | 7月分コーチ代 | コーチ代(黒瀬大輔氏)として | 2021年8月 |
| 2 | ¥80,000 | 事前 | 8月分コーチ代 | コーチ代(黒瀬大輔氏)として | 2021年9月 |
| 3 | ¥80,000 | 事前 | 9月分コーチ代 | コーチ代(黒瀬大輔氏)として | 2021年10月 |
| 4 | ¥80,000 | 事前 | 10月分コーチ代 | コーチ代(黒瀬大輔氏)として | 2021年11月 |
| 5 | ¥80,000 | 事前 | 11月分コーチ代 | コーチ代(黒瀬大輔氏)として | 2021年12月 |
| 6 | ¥80,000 | 事前 | 12月分コーチ代 | コーチ代(黒瀬大輔氏)として | 2021年12月～ 2022年1月 |
| 7 | ¥70,000 | 事前 | 黒瀬先生定期演奏会指揮代 | 黒瀬先生定期演奏会指揮代として | 2021年12月～ 2022年1月 |
| 8 | ¥8,000 | 事前 | 練習にて使用する飲料水 | 練習にて使用する飲料水代として | 2021年7月～ 2021年12月 |

定期演奏会会計 林より、人件費について、1月に申請したがあまりに高かったため、コーチを交代し見直しを行い杉山先生の代わりとして黒瀬先生にお世話になったのでその分を申請したいと報告があった。また練習で使用する飲料水を申請したいという報告も併せてなされた。

塾生代表 山田から前回からどれくらい浮いたのか教えてほしいと質問があり、林が1ヶ月あたり12万円だったのが8万円になり、定期演奏会も10万円から7万円になり、7割程度になったといった回答がなされた。また、林より7月は本日契約のため少し安くなっているという説明がなされた。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(8) 應援指導部の活動報告

應援指導部 小畑より應援指導部の7月の活動報告がなされた。小畑は緊急事態宣言下であったが感染症対策を講じて活動したと報告した。まず1つ目として、第79回早慶バスケットボール定期戦の試合でのエール交換及びハーフタイム・アイドルタイムで演技を行ったと報告した。2つ目として、再建活動へのオンラインミーティングを行っているという報告された。3つ目として対面練習の実施をしていると報告された。併せて7月8日に緊急事態宣言が発令されたが、学校の許可の元、対面練習を継続していると伝えた。加えて人数の一部を二班体制として感染対策をしていることも報告した。4つ目として執行部会・定例会及び役員会の実施をしている旨が報告された。5つ目としてチアリーディング部が7月10日にUnicorns Songleaders 舞台 EXPRESS のオンライン Live 配信に参加したことが報告された。6つ目として優勝祝賀会のための撮影を行ったことが報告された。7つ目として慶應義塾中等部の体操部へのダンス指導を行ったことが報告された。

(9) 應援指導部の再建活動についての議案

應援指導部 中村より2年前の一連の事件によって処分を受けていたが、3月に一部を破棄していただき、さらにもう1段階進もうとしているという事前説明があり、今回のこの時期の提案となったのは不祥事を経験した部員が減ってきており旧体制を知らない人だけになってしまうのは、良くないと考えたからであると説明があった。さらに中村より、再建活動の全体的な流れを示した資料を共有の上で、学生団体としてやるべきこととやりたいことの情報収集を行なった上でツールを設定し、演習方法の設定、さらに次に過去の問題点と比較した。続けて中村よりアンケートの結果をもとにそれぞれの設問に対して應援指導部の理念を考えており、外から求められるものに加えて内部の学生が求めるものを実現したいと説明があった。

新部門については、前は後で決めるものとし、男女混合の部門としたうえで旧リーダー部の特異性を排除し、原点からかけ離れてしまったものについては戻した上で、新部門がやりたいことややるべきことを行うものとし、慶應義塾の精神の表現などの取捨選択を行いたいと返答した。練習方法やメニューについては、練習方法やメニューについては他部門と活動を揃えて今までは4年生が恣意的な練習を行うという悪しき風習であったが、これは団体における正解であって世の中では不正解であるものであるから、原点からかけ離れたものは戻していき、慶應義塾の精神の表現などを行いたいと説明があった。

さらに中村より全般における問題点と解決策として、自己実現面を想定した内容は健全であったにも関わらず問題が起きてしまったので、現時点でもOBとの接触は制限しており過去の不祥事はプライバシ

一を考慮した上で引き継いでいくと説明があった。さらに再建計画について、処分案について再考してほしいと上程があり、その後については他部門から監査できる体制を作った上で今後についての意思表示を報告・発信していきたいと決意表明なされた。教授にも相談し、学生への説明が最優先であり塾生に自分たちが発信していくことこそが重要であり、今後も定期報告をしていきたいという方針が示され、処分案についての再考を求められた。

塾生代表 山田より新部門設立の再建計画だが現在の処分が撤廃されたときに作りたのかという質問があり、中村よりもし認められたら作りたかと返答があった。山田より今日早急に決めるのは無理であり、いずれにせよ一部を制限する形になると思うという認識が示され、さらにリスクマネジメントを考えた上でのコミュニケーションを取っていききたい、いずれにせよ時間が欲しいという方針が示された。さらに山田より4月に出されたものについても色々な声を聞いており、全塾協議会にも説明責任があることが説明された。

中村より学生への発信は應援指導部が行っていき、処分についての説明は全塾協議会からしていただくということだと補足があり、さらに今早急には無理であることは理解しているという認識を示され、その上で皆の意見が欲しいとコメントがあった。

文化団体連盟本部 松尾より、新部門案については言うことがないが処分案についてはいきなり今日決定するのは厳しいが、廃案でもいいと思うと発言があった。体育会主幹 長谷川より、処分案については当事者目線であるがシーズンが続いているので、応援してほしいという思いはあるが、個人的には唐突だと思うため、皆様から温かい判断をして欲しいと思うと発言があった。全国慶應学生会連盟 吉田より、旧体制との比較や課題などは分かりやすかったが、処分判断の根拠がそろっていないため今日は厳しいという発言があった。全塾ゼミナール委員会 増馬より、不祥事からの再建と掲げていたがなぜ自己実現が出ているのはなぜかと質問があり、処分解除については時期尚早であると発言があった。中村より、自己実現はそもそも部として健全な状態にするために必要であり、不祥事を起こさないことは別で考えていると返答があった。四谷自治会 保住より、理念や目標をまとめて述べているので段階的な解除が望ましいと発言があった。福利厚生機関本部 岡山より真摯であると感じたが段階的な解除が望ましく、不祥事当時の人が在籍しているうちに解除を進めるのが適当であると思うと発言があった。芝学友会 横山より処分についての今すぐの全面解除は難しく、今後は新たな指導案が入ってくるのが望ましいと発言があった。

中村より、肯定的に捉えていただいたのは嬉しいが、旧リーダー部員と不祥事後に加わった部員を抱えており、貴重な学生生活が失われている学生もいることを忘れずに議論して欲しいと発言があった。山田より、新部門設立案に問題を挙げるとすれば問題の分解であり、問題の原因を分解した上で排除することが我々に取って大事になってくると発言があった。中村より問題分析はやっているが長さの関係でカットしたと発言があると、山田はやっているのは承知しているが議会のタイミングではなく出来次第共有してほしいと発言した。

中村より部員の時間を考えて欲しい他、確認として8月の定例会で処分解除が可能かどうかと臨時会を開けるかどうかについて聞きたいと質問があり、山田より臨時会の招集は自分ができるが議員のスケジュールの関係でかなり厳しいため、処分が解除される場合とされない場合のどちらでもいいように活動してほしいという認識が出された。最後に中村より方向性は共有させていただき、忙しいとは思いますが検討してほしいと発言があった。

(10) 湘南自治会準備会の活動報告

湘南自治会準備会より、活動内容が報告された。

湘南自治会準備会 松浦より、平時の活動は定例会が2種類あると報告された。また、承認投票、E-FES、七夕祭参加といった活動をし、現在全塾協議会加盟に向けて手続きを行っていることも合わせて報告された。また SNS の更新と新規入会を含めた組織作りなどは継続して行っていると発言があった。承認投票の結果に関して、設立は承認されたが、投票率が低かったことについては真摯に受け止めており、今後も広報につとめたいとした。一方で、少なくとも賛成してくれた人は 221 人おり、これも受け止めていると発言した。七夕祭に関しては、新規事業助成制度を使ったと説明した。

(11) 全塾協議会事務局の交付金特別支出承認申請

全塾協議会事務局より、交付金特別支出承認申請が以下のように上程された。

| | 許可金額 | 申請時期 | 品名 | 支出理由 | 支出時期 |
|---|----------|------|-----|--|------------|
| 1 | ¥150,000 | 事前 | 電車代 | 日吉キャンパス塾生会館で実施している夏季休暇期間中の二次監査において、事務局員が各自宅と日吉キャンパスを往復するのにかかる交通費 | 2021年7月、8月 |

全塾協議会事務局 関田より、二次監査を実施しており、各々がかかる交通費を片道¥500×10 日の回数券として算出し、監査期間のうち一部を補助する形であり、例年は定期券を持っている部員が多いが、今は定期券を持っていない部員も多いため、例年より多めに申請したという報告がなされた。また加えて、関田より、事務局には好きで入ってもらっているのに、賃金が発生していないが、自費で負担してもらうのはまずく、二次監査は交付金にとって不可欠であり、最終的には福利厚生につながるという報告もなされた。

塾生代表 山田は、事前に相談を受けており、交通費を出したくても出せないこともある一方で一部であるということと、定期を買っていないという事象もあると思い、慣例的な許可はできないと思うが、とりあえずの許可は良いだろうと述べた。

加えて山田は、これまで交通費を回数券で交付してきたが定期券の交付も考えたく、塾生から集めたお金で交付金を支給しているので定期券を買った方が安いのに、あえて回数券を買うというのは本末転倒な気がする、と述べた。事務局長 岩館は、今回は回数券の方が安いので回数券とし、決して定期券の方が安いわけではないことを補足した。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(12) 全塾協議会事務局の新規事業実施報告

全塾協議会事務局から新規事業実施が報告された。

事務局長 岩館が先月申請した湘南自治会準備会の七夕祭の参加について報告すると発言した。

湘南自治会準備会 松浦より、7/3 の七夕祭について、ステージ参加費として 6000 円と振込手数料の新規事業助成制度を利用したことが報告された。また、目的達成に関して、動画放送だったため、数値に表すことができないが、当時のライブ参加者は Twitter では 9000 人であり、5000 人在籍の SFC につい

ては多いと言えるのでは、といった発言をした。また、選挙の存在を keio.jp に掲載した件に関しては、普段 SFC 生があまり keio.jp を見ていないが、一定の効果はあったと推察し、広報は平時の活動としても行っていくと発言した。加えて、自治の必要性の議論については今後も継続して行っていくと発言した。

塾生代表 山田より湘南自治会の仮加盟が 8 月 10 日をもって切れ、今回の定例会で加盟の議論は間に合わないことが伝えられた。併せて、今までは仮加盟という形で結びつきがあったが、8 月 10 日をもって関係は切れるため、誤解の無いような適切な広報を議員に呼びかけてほしいとした。

(13) 選挙管理委員会の湘南自治会設立承認投票報告

選挙管理委員会副委員長 関田より 7 月 3 日から 7 月 10 日で湘南自治会の設立の可否について選挙が行われたことが報告された。併せて、投票結果に関して 7 月 23 日に公式ツイッターでお知らせしたと報告した。有権者は総合政策学部・環境情報学部・看護医療学部の 3 学部及びそれにかかる 2 つの院が有権者であると報告された。投票総数は 311 票であり、うち有効投票総数が 235 票、さらにそのうち学部生が 235 票で投票率は 4.57% であると報告された。賛成票が 221 票のうち学部生が 201 票、反対票が 14 票のうち学部生が 13 票、よって湘南自治会の設立が承認されたと報告された。

湘南自治会準備会 松浦より、具体的に改組については 8 月上旬の予定であると報告された。また、来月の全塾協議会定例会にて、本加盟の議案を塾生代表もしくは事務局から出してもらう予定であると伝えられた。また、選挙管理委員会にお礼を伝えた。

事務局長 岩館より、本件とは関係ないが正式加盟について必要な書類の準備をしてもらっていると報告があった。また、確定させて言うことはできないが 8 月には議案として取り扱えるよう準備会に資料を提出してもらうことになっており、事務局としても 8 月には議案として扱えるよう準備していくと伝えられた。

関田より補足として、運営方針の中に、投票メールの本文中に書かれた批評などは準備会へ共有するとなっており、準備会への共有が済んでいることが報告された。

8. 連絡事項

在原より次回全塾協議会について、8/25 の 19:00~となる旨が報告され、詳細については明日の午前 8 時にメールで伝えるとした。

また、関田より一次監査の案内が上部団体に送られていることが伝えられた。併せて 8 月末までにということも伝えられた。また、リーダーズキャンプについても 8 月上旬から日程調整を行うことが案内された。また、全団体に報告として、決算書類の提出要請などを行う場合があり、迷惑メールに入っている可能性もあるので注意するよう呼びかけた。

9. 閉会宣言

事務局長 岩館則明が閉会を宣言し、20:37 に閉会した。